

第16回離島対策等検討会 議事概要

1. 日時 平成21年12月3日(木) 17時00分～18時00分
2. 場所 日本自動車会館11階 (財)自動車リサイクル促進センター第2会議室
3. 出席者 藤井座長、大杉委員、渡邊委員
その他 (財)自動車リサイクル促進センター事務局、
経済産業省・環境省担当官
4. 議題 1)平成22年度 離島対策等支援事業資金出えん計画(案)
2)離島対策支援事業における海上輸送費台当たり単価の分散について
3)チラシによる市町村周知活動支援について

5. 議事概要

本議事概要は検討会での承認事項及び委員の主な意見を中心にまとめており、質疑の詳細については1ヶ月後を目処に議事録にて公表いたします。

資料3 平成22年度 離島対策等支援事業資金出えん計画(案)を中心に、3議題を事務局より説明し了承された。

<意見>

- (1)離島対策等支援事業資金出えん計画(案)は、概ね妥当である。
ここ2、3年鉄スクラップ価格が乱高下したこともあり、今後は定常状態の事業規模を見極める必要がある。確認時間を要すると理解しているが、センターとしてより正確な事業規模を把握する方法について引き続き検討されたい。
また、離島市町村における現地の実態把握は重要と認識しているため、今後も引き続きその活動を行うとともに、事業者の存在する離島市町村においては、関係者と連携し中核事業者となるよう育成・支援されたい。
- (2)不法投棄等対策支援事業については、平成22年度中の事業活用計画は無いとのことだが、100台以上の大規模事案の存在も報告されており、今後ともその状況を注視されたい。
- (3)海上輸送費台当たり単価の分散については、了解した。
荷姿、定期船利用の有無及び離島規模などの要因が海上輸送費に影響を与えることが理解できたが、それらをもってしても輸送単価を説明しきれない離島ケースも散見され、その他の要因の有無についても今後検証を継続されたい。
- (4)行政や事業者への活動に加えて、今後は自動車ユーザーへの啓蒙活動がより重要性を増すものと考えられるため、チラシによる市町村周知活動支援については、個々の住民に対し啓発するツールとして評価できる。配布後の周知効果及び住民意識の変化などについて報告されたい。

以上